

# Only one

～ こどもの「生きる力」を育む家庭教育 ～

2026年3月

発行：能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne  
Column

## わが家の通信機器利用について、親子で話し合ってみませんか

能代市社会教育指導員 佐藤 誠也

お子さんの成長とともに、「自分専用のスマホやゲーム機が欲しい」という声を聞く機会が増えるのではないのでしょうか。入学祝いや誕生日といった記念に、新しい通信機器を買い与えることもあると思います。現代においてオンライン通信機器を渡すことは、単なるプレゼントだけでなく、世界中とつながる扉の鍵を子どもに預けることにもなります。

その扉の向こうには、ワクワクするような楽しさや学びが広がっていますが、同時に、子どもだけの力では解決できないトラブルも潜んでいます。例えば「既読無視」や言葉の行き違いによる仲間外れ、けんかをきっかけにした悪口の発信、個人情報の流出、写真の背景から自宅や学校が特定される「身バレ」、軽い気持ちで送った画像やふざけて撮った動画が拡散される「デジタルタトゥー」。これらは決して他人事ではなく、どの年代の子どもにも起こり得ることです。

お子さんにオンライン通信機器を与えるとき、一番大切なのは「買い与えて終わり」にしないことです。保護者の方には、「トラブルを未然に防ぎ、何か起きたときには家庭で責任をもって対応する」という思いも必要になります。機器を渡すタイミングで、次のことを親子で確認しましょう。

- ・「夜〇時まで」「使うのはリビングで」など、具体的な約束を決めましょう。まずは大人が「なぜそのルールが必要か」を伝え、お子さんの意見も聞きながら、納得できるラインを探してみましょう。
- ・「知らない人とつながるのがなぜ危ないのか」「フィルタリングはなぜ必要なのか」、理由を論理的に、そして親子で一緒に考えてみましょう。
- ・「何かあっても、怒られるのが怖くて言えない」と思わせない環境を作りましょう。困ったことがあったら、いつでも一緒に解決することを確認しましょう。いつでも話せる関係作りが大切です。

オンライン通信機器は、子どもの可能性を大きく広げてくれます。この便利な道具を賢く使うためにも、大人が環境を整え、子どもと対話することが大切です。「楽しい思い出」を「一生消えない後悔」にしないために、わが家の通信機器利用についてもう一度、親子で話し合ってみませんか。



## おすすめの1冊

能代市立能代図書館所蔵の「家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



### ネットでいじめられたら、どうすればいいの？

#### 5人の専門家と処方箋を考えた

著者：春名風花 出版社：河出書房新社

被害者/加害者にならないためにはどうすればいい？ネットの悪口、どこからがNG？未成年者のSNSトラブルに対する、具体的解決策と心の守り方を弁護士や精神科医、いじめ探偵ら専門家との対話を通して伝えます。



## 家庭教育講座のご紹介

能代市社会教育指導員 佐藤 誠也

2月に行われた5歳児親子相談の様子です。

5歳児の保護者向けに、お子さんとの関わり方や入学前の子育てのポイント、電子メディアの使用について等お話ししました。

ご参加いただいた保護者からは「子どもへの接し方や、子どもの生活習慣を見直す良い機会になった。」「親自身が余裕をもって見守ったり、待ったり出来るようになりたいと思った。」などの声をいただきました。

この5歳児親子相談で、就学に向けての不安を少しでも取り除くことができたらと思っています。



### 困ったときは、下記へお問い合わせください。

#### ○子育てに関するご相談等

TEL 89-2955 (能代市子育て支援課 家庭児童相談)

TEL 52-8115 (能代市子育て支援センター)

TEL 73-3111 (二ツ井子育て支援センター)

TEL 89-2948 (能代市こども家庭センター)

#### ○学校(いじめや不登校等)に関するご相談等

TEL 73-5178 (能代市教育委員会 教育研究所)

TEL 89-1616 (能代市教育委員会 教育研究所(風の子相談))

#### ○家庭教育に関するご相談等、家庭教育通信に関するご意見や感想等

TEL 73-5285 FAX 73-6459

メール shou-supu@city.noshiro.lg.jp (能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課)